

第5回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和5年7月24日（月曜）		午前10時30分 開会		
	休 憩 11:01-02 11:17-18				
			午前11時53分 閉会		
	休憩時間：0時間02分		会議時間：1時間21分		
会議場所	3階委員会室				
出席委員 氏 名	委員長	中村 和宏	委員	立川 美穂	
	副委員長	中田智恵子	委員	堀切 忠	
	委員	鈴木 健充	委員	小笠原 等	
	委員	早苗 豊	委員	伊藤 稔	議長 梶澤 幸治
説 明 員	健康福祉課長	森 真由美	子育て支援係長	大浦 啓介	
	障がい福祉係長	矢野 貴士	子育て支援係主査	莖田 千春	
	保健推進係長	吉川 泰子	発達支援係長	山崎 清	
	保健推進係主査	中元 麻実			
	子育て支援課長	佐々木雅之			
	発達支援センター長	有本 和晃			
参考人					
欠席委員 氏 名					
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 竹川 恭史			
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。 <p>2 議 件</p> <p>（1）調査事項</p> <p>ア 第7期芽室町障がい者福祉計画・第3期芽室町障がい児福祉計画策定について 資料1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉課長：2計画が令和5年度で期間満了となることから、次期計画策定を検討している旨の趣旨説明。障がい福祉係長から資料説明（計画策定根拠、作業進捗状況、令和5年度スケジュール）。 ・委員長：意見・質疑はないか？ ・中田委員：8月のアンケート対象は、一般町民に拡大する考えはないか？ ・健康福祉課長：アンケート回収実績は過去約4割。回収率を上げるために、今回は、「障がい」という分野に関わりの深い対象として、設定した。今後の検討課題としたい。 ・立川委員：検討課題と認識しているアンケート対象の拡大が、反映される時期は？ 					

- ・健康福祉課長：今回のアンケート実施に際する改善事項は、項目の精査・追加である。このことから、アンケート対象の見直しについては、次期計画策定時に向けた反映として検討したい。
- ・立川委員：ペアレントメンターについて、研修会受講費の助成は検討されているか？
- ・子育て支援係長：課題として認識していることから、今後検討していきたい。
- ・立川委員：登下校の移動支援について、次期計画に包含されているのか？
- ・子育て支援係長：複数の課で連携して取り組んでおり、継続的に対応していく考えである。
- ・立川委員：通勤の移動支援について、次期計画においては、町のみではなく雇用側にも協力を得るなどの検討に入っていく予定か？
- ・健康福祉課長：検討に入った段階であり、計画への反映については、まだ入口の協議・整理を要する事項と捉えている。
- ・立川委員：予防接種の費用負担について、障がい関係団体から要望があるが、次期計画への反映は？
- ・健康福祉課長：インフルエンザを例にとると、罹患時に重篤化が想定される高齢者及び受験生等の一定の条件設定で費用助成を行っているが、障がい者・児への対象拡大については、他の自治体の状況等も調査している段階である。次期計画への反映は現時点では予定していない。
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 第5期芽室町健康づくり計画について 資料2

- ・健康福祉課長：当該計画が令和5年度で期間満了となることから、次期計画策定を検討している旨の趣旨説明。保健推進係主査から資料説明（計画策定根拠、作業進捗状況、令和5年度スケジュール）。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・中田委員：アンケート調査対象は、何人か？町民の何割くらいになるのか？
- ・保健推進係主査：950人。40歳～65歳の1割程度。
- ・中田委員：アンケート項目は、国の基準か？町独自の設問か？
- ・健康福祉課長：国の「健康日本21」に基づく設問に、町の独自設問等を適宜追加しているものである。
- ・中田委員：前回対比で改正した事項は？
- ・健康福祉課長：感染症に関して項目を追加している。
- ・立川委員：アンケート対象は、検診受診者や企業等、健康に関心が高い方にスポットを当てていると捉える。今後の健康づくりの課題を把握するためには、健康への関心が低い方の声を把握することも重要と考えるがいかがか？
- ・健康福祉課長：アンケートの趣旨は、幅広い対象は必要と考えるが、まずは回収率を上げて、その中から課題を抽出することに軸足を置いている。また、町の「健康づくり」事業に対する町民意見の反映については、アンケート以外に日常訪問時において、聞き取りなども並行して行っている。今後の検討課題としたい。

- ・立川委員：コロナの対応を反映した内容は、次期計画に存在するか？
- ・保健推進係長：自殺対策の分野に、一部その要素を加味している。
- ・立川委員：子宮頸がん予防対策として、男性を対象にした取組みは検討されているか？
- ・健康福祉課長：子育て支援課と連携して取り組む分野となり、継続して検討していきたい。
- ・立川委員：今後の議会への説明時期の予定は？
- ・健康福祉課長：素案が整理できた段階で、説明したい。
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ 6月定例会議の振り返りについて 資料3

- ・委員長：3人の委員から「振り返り」の提出があったので、それぞれの取扱いについて、協議したい。最初に、伊藤委員の「振り返り」について協議する。「1：自らが所属する常任委員会で追跡調査とすべきと考える政策・事務事業等」に記載の3項目のうち、1項目目の「民生委員欠員の実態調査」及び3項目目の「共働き家庭等の子どものサポート体制充実の検討」は、今後、当委員会で調査するか否かを協議したい。各委員から意見を求めたい。
- ・立川委員：今後、所管調査事項として、取り扱っていくべきでないか。また、議員個々の調査を並行すべきと考える。
- ・委員長：立川委員の意見に異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：決定する。
- ・委員長：次に、2項目目の「選挙公報の発行基準のルール化」は、総務経済常任委員会の所管のため、「2：他の常任委員会に追跡調査を依頼する事業等」とし、申し送りたい。異議ないか？
- ・堀切委員：委員長の意見どおり、総務委員会に依頼すべきと考える。
- ・立川委員：今年度が計画期間となる「選挙事務執行改善計画」の更新にあたって、総務経済常任委員会が調査するよう、依頼を申し送りすべきと考える。
- ・委員長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：決定する。
- ・委員長：次に「4：その他」に記載の「旧温水プールアスベスト含有調査」に関する意見については、先月（6月20日）の合同委員会で、すでに議会として調査が終了していることであるが、それを踏まえた上での質疑であるなら、28日開催の臨時会議において「補正予算」が提案される予算決算特別委員会で、自身が質すこととしてはいかがか。
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：「旧温水プールアスベスト含有調査」に関する意見については、合同委員会での調査が終了していることから、議員個々の質疑による対応とする。異議ないか？

- ・(異議なし)
- ・委員長：決定する。
- ・委員長：次に、小笠原委員の「振り返り」について、協議する。「1：自らが所属する常任委員会で追跡調査とすべきと考える政策・事務事業等」として「(1) 一般質問から」に記載の「障害児の放課後の居場所と移動支援」及び「(2) 質疑等から」に記載の「現状のいっそうの把握」について、今後、当委員会で調査するか否かを協議したい。各委員から意見を求めたい。
- ・立川委員：本日、調査事項「ア」で一定質疑し、今後も計画策定の進行に合わせて、町から説明もあることから、この流れの調査で良いのではないかと併せて、議員個々の調査を並行すべきと考える。
- ・委員長：立川委員の意見に異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：次に、「2：他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等」として「(1) 一般質問から」に記載の「選挙事務執行改善計画の進捗状況と今後の取組」及び「(2) 質疑等を踏まえて」に記載の「議会活動・議員活動のいっそうの理解」についての取扱いは、前段は、総務経済常任委員会に依頼し、後段は、第1回全員協議会(6月1日開催)において、今年度の議会運営委員会の活性化計画に様々な取組として包含されていることを、全議員ですでに共通認識を図っているため、この場での改めての意見として共有することとしたい。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：次に、堀切委員の「振り返り」について、協議する。「4：その他」に記載の「選挙公報が紙媒体で配布されなかったことに関し、各議員の公約を議会だより等で町民に知らせるべき」という意見について、この取扱いに関する各委員からの意見を求めたい。
- ・鈴木委員：「選挙公報」は「議員の公約広報」であり、議会だよりに掲載する定義ではないと考える。
- ・堀切委員：選挙公報そのものを掲載するという趣旨ではなく、「議員の立候補の意思」として、住民に対し公表し、理解を得てはということであるので申し添えたい。
- ・立川委員：選挙公報は議員のマニフェストであり、住民への公表は賛成するものである。ただし、関係法令等との整合性は大前提となることから、そのチェックは必要である。議会運営委員会で共有してはいかがか？
- ・早苗委員：議会運営に関することであり、前向きに議運で協議してはいかがか？今年度、議運の活性化計画にも位置付けられている「政務活動費の調査・研究」と密接に関係する事項と考える。
- ・委員長：議会運営委員会において説明し協議することとする。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：以上で、調査事項「ウ」を終了する。

- ・委員長：資料説明。
- ・立川委員：少子化を起点とした広範な小中一貫教育のあり方調査が抽出事業であり、その前提に立ち、様々な具体事項を調査するような流れで、整理してはいかがか？
- ・委員長：正副一任でメールにて了解をいただき進めたい。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：以上で調査事項「エ」を終了する。

- ・委員長：自由討議を行う。調査事項「ア」について意見はないか？
- ・立川委員：計画策定前に議会説明を求めたい。
- ・委員長：異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：決定する。

- ・委員長：調査事項「イ」について、意見はないか？
- ・(意見なし)

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・正副一任

(2) その他

- ・委員長：その他で各委員からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・議長：6月定例会議の振り返りについて、その定義を、改めて委員会内で共有していただきたい。各委員の意見や感想がそのまま、このシートに記載されて協議するものではない。また、抽出事業について確定が遅れている。5月の任期以降、すでに2か月が経過している。小中一貫教育は広範な定義なので、調査ポイントも明確に限定していかなければならず、先進地事務調査も含めて早急に進めていただきたい。
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	2名	合計	2名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和5年7月24日

厚生文教常任委員会委員長 中 村 和 宏